

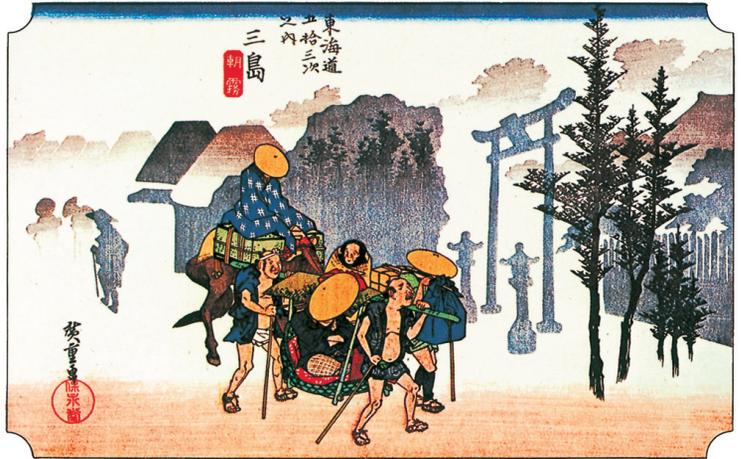


R I. 第2620地区 静岡第2分区
三島西ロータリークラブ

週報

第2119号

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 2F
TEL(055)976-6351 FAX976-6352
例会場 静岡県三島市本町6-35 呉竹
TEL(055)975-3210
会長 西本 和夫 幹事 宇田川 茂



広重版画より 三島 朝霧

第2182回例会 見晴フェスティバル

2017.10.15雨

会長挨拶

副会長 佐野宏三君

皆さん、おはようございます。この1週間、季節外れの暑さと肌寒さ、寒暖差がはげしく体調管理が大変だと思います。さて「見晴らしフェスティバル」に当クラブが模擬店を出店して、今年で13年目になります。当初は社会奉仕委員会だけの単年度の事業で、予算的にも厳しく会員の皆様方に例会でカンパをお願いした事もありました。今から8年前、岩崎守幸さんが会長の時にクラブで全面的に事業をバックアップすることになり「見晴らしフェスティバル」を移動例会に変更しました。13年間も事業が継続できたのは、できあいの物を提供する他の奉仕団体と違って、会員とミセスロータリーの合作による手作りの豚汁が毎回大好評で、楽しみに待っている人が大勢いるからだと思います。

先日、NHKテレビ「クローズアップ現代」で「障害者の恋と性」の番組をたまたま見ました。「性」に関する過激の言葉がパンパン出てきて、公共放送でこんな放映をして大丈夫なのか、それと女房や子供が側にいなくてよかったです。番組では障害者へのバリアフリーや生活支援は法律の整備が進んでいますが「性」の問題は健常者の先入観や偏見が強く置き去りにされている事や、障害者だって健常者と同じように性欲はあるのに、介護の現場では「性」は完全にタブーで、障害者はいつも清廉潔白を求められ人格を否定されているような現状が映し出されました。健常者も障害者も同じ人間です。考える事も同じです。なぜ差別されるのか問題提起の番組だと思いました。海外ではヨーロッパが比較的早くこの問題に取り組む、オランダは障害者が性的介助を受けた場合、保険の適用があるそうです3年後東京パラリンピックが開催されます。障害者への認識が益々高まりますが、介護現場ではどこまで「性」に介入するのか線引きも難しく答えも出ずに混乱をまねくでしょう。話は戻りますが、当クラブが「見晴らしフェスティバル」に参加した当初、ビールも提供していました。焼鳥とビール、相性がいいです。私が一番印象に残っているのが、障害者だってビールを飲みたいのです。保護者にビールを飲んで良いのかアイコンタクトで同意を求めている姿です。私が女房の顔色を伺いながら飲むお酒と一緒に。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修出席率
前々回	34/38	89.47%	37/38	97.37%
今回	24/35	68.57%	会員総数	45名

欠席者 赤池君、大石君、窪田君、柴崎君、須田君、長田君、野田君、前田(邦)君、矢岸君、矢野君、米山君



2017~2018年度
国際ロータリー会長
イアンH.S.ライズリー

ロータリー：変化をもたらす

見晴フェスティバル



三島西RCテーマ

Memory of the rotary